

小石だより



令和6年10月4日（文責）校長 牛尾 直樹

学校教育目標

美しい心にあふれ、かしこく、たくましく生きる子どもの育成

—こんな子どもたちに育てたい—

<こ> 向上心にあふれる、たくましい子ども

<い> いつも明るく、美しい心の子ども

<し> しっかり学び、かしこい子ども

スポーツフェスタ開催！

異常ともいえる暑さが、ようやく収まり始めました。朝の気温も、八月九月のピーク時より10℃ほど低い日があり、季節の移り変わりを肌で感じるようになりました。

さて、2学期になって練習を重ねていた、スポーツフェスタの本番がついに訪れます。限られた時間の中で、子供たちは練習を重ね、いよいよ当日を迎えます。今年度は、運動会伝統の紅白で競い合う形式を復活させました。数年前までは「どの子供も一生懸命頑張っているのに優劣をつけるなんて可哀そう」という考えから選抜のリレーがなくなり、徒競走も手をつないでゴールするなどの場面があったとも聞きおよびます。

しかし、小学校体育の学習の種目には「競争型」と「克服型」「達成型」があり、中でも小学校児童の特性上、競い合う形の競技は有効だとされています。他者と競い合うことは決して悪いことではなく、それどころか児童の意欲を高める際に大変効果があるのはすでに知られている事実です。しかし学校教育ではそこに、競い合いによって生じる結果「勝者と敗者」の出現に際し、十分な配慮が求められます。つまり、「勝って驕らず、負けて挫けず」の精神の涵養です。

勝者は勝ちを喜びと同時にさらに自らを引き締め、敗者に対してその健闘を称える。敗者は勝者を気持ち良く称えるとともに、挫けることなく顔を上げ、精いっぱい頑張った自分に誇りを持つ。こうしたことを合わせて指導していくのが学校教育だともいえるでしょう。今年のスポーツフェスタでは、ぜひこうしたことを一人一人がしっかりと身につけてもらいたいものです。

お子さんの体調不良時について

足掛け4年にわたって続いた新型コロナウイルスの流行以降、感染症に対する関心は高まり続けています。本校でも新型コロナウイルスによる学校閉鎖等はなかったものの、今年に入ってから、個別での感染報告は上がっていました。また、年間を通してみると、インフルエンザやアデノウイルス、ロタウイルス、リング病、手足口病など、枚挙にいとまがありません。

新型コロナウイルス発生時をお願いしていたことですが、「公衆衛生」「感染拡大防止」の観点から、お子様の発熱など、感染が疑われる場合での登校はお控えいただきますよ

うお願いいたします。お仕事等の都合でやむを得ない場合もあるとは思いますが、様々な条件を抱えた子供たちが通う公共の場所です。場合によっては、持病を抱えた他の子供たちに深刻な影響をもたらす場合も考えられます。なにより、体調不良のお子さんの健康状態を優先してあげてください。

また、学校の保健室及び養護教諭に関してのお願いです。学校の養護教諭は、子供たちの健康教育を担当する国で定められた「教諭」です。医師や看護師が行うような医療行為は法律上できません。児童の診断および投薬、服薬の指示も原則できません。けがの際も応急処置のみが可能で、本格的な処置・治療は医療機関で行うこととなります。もちろん、お子さんの状態の見取りやお子様の健康状態についてのご相談に関しては細心の注意を払って行いますが、最終的な判断に関しては、ご家庭では保護者が、学校でのけがや病気については、病院で医師が行うこととなります。緊急性の高い状況では、学校が責任をもって病院に連れていき、医師の判断を仰ぎます。

子供たちの健康と安全に関する基本線について、ご家庭の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

校内の車の乗り入れに関する再度のお願い

先日テトルでもお知らせしたように、登下校時の児童の安全確保のため、保護者の敷地内への自家用車等の乗り入れはお断りしています。最近、朝の登校時や帰りの下校時、送迎の車が敷地内に進入する場面が多くみられます。他校では、敷地内での保護者の自家用車と児童の接触事故も起きています。

以上の理由から、敷地内での子供の乗り降りは固くお断りしていますのでご了承ください。なお、児童の傷病時などで「早退する時」のお迎えはこの限りではありません。また、その他のやむを得ない事情がおありの際は、ご遠慮なく学校までご相談ください。

校内での児童の安全確保の面から、ご理解とご協力をお願いいたします。

9月の主な行事予定

- 5(土) スポーツフェスタ
- 7(月) スポーツフェスタ代休
- 11(金) 避難訓練(不審者対応)
- 15(火) こころの劇場(6年)
- 17(木) 就学児健康診断クラブ活動
- 29(火)～30(水) 6年修学旅行